

SSKS

2023. 1月号

No. 546

せんかわだより

～あるがままに あたりまえに～



新年あけましておめでとうございます



ワークイン中町 共同作品/貼り絵『門松』 個人作品9名/書道『卯』

あけましておめでとうございます。本年も、社会福祉法人武蔵野千川福祉会をよろしくお願い申し上げます。

利用者の安全、安心を確保しながら、日常生活を送ることができるように努めてまいります。2023年も当法人の事業へのご理解、ご協力をお願い申し上げます。



社会福祉法人 武蔵野千川福祉会

<http://www.musashino-senkawa.com>



謹んで初春のお慶びを申し上げます

令和5年 元日
社会福祉法人 武蔵野千川福祉会 理事長 菅野 敦

新年、あけましておめでとうございます。謹んで新年のご挨拶を申し上げます。昨年もコロナ禍の下での不自由な事業運営となり、皆さまには事業面、そして日々の利用者支援におきましてさまざまなご不便、ご迷惑をおかけする一年となりました。新年にあたり令和4年を振り返りまして、皆さまに昨年の事業運営とともに利用者支援にご理解、ご協力を賜りましたことを心から感謝申し上げます。本年も、どうぞよろしくお願い申し上げます。

大きな変化と新たな出発

昨年は、社会福祉法人武蔵野千川福祉会の現在の姿をつくる大きな礎となってくださった新堂薫前常務理事が逝去されるという、当法人にとりましては大きな変化と同時に、新たな出発の年となりました。新年にあたりまして、新堂さんの築かれた武蔵野千川福祉会の姿をさらに発展させていく決意を職員一同、あらためてお誓いいたします。

各事業所の重点目標を振り返って ～現時点での到達点と次年度に向けて～

令和4年は、「利用者支援を充実させます」「職員研修を積み重ねていきます」「中長期計画の策定をします」「新型コロナウイルス感染症等緊急事態に適切に対処します」「人事評価・キャリアパス制度を適切に運用します」の5つの事業方針のもと、計画を策定し事業運営を行いました。

事業方針1.「利用者支援を充実させます」では、事業ごとに重点目標を立て、利用者支援を行いました。

①児童支援部では、「支援の基礎づくりを継続します」を重点目標に、国が提示している「ガイドライン」を基にして「千川おひさま幼児教室事業概要」と「千川さくらんぼクラブ事業概要」作成へのとりくみを通し、これまで行ってきた支援をガイドラインに沿って見直しました。今年も継続して、すべての支援を事業概要に基づいた支援として提供することをめざしてとりくんでいきます。

②生活支援部では、「利用者の力を伸ばす支援をします」を重点目標に、利用者アセスメントに基づいて支援の類型化を試み、その類型に合わせて目標を設定し、支援・指導を進めていくとりくみを行いました。まだ、類型化に基づいた支援内容の整理にまで至っていませんが、今年も、今提供している支援は「利用者の力を伸ばす支援」となっているのかを検証しつつ、利用者の自立生活をめざし、体系的な支援が提供できることをめざしてとりくんでいきます。

③生活介護事業所では、「提供する活動を見直します」を重点目標に定めました。その目標に向かうために、あらためて生活介護事業所では何を行うべきか、就労支援事業所とは異なる活動の特徴を見出すとりくみ、そして利用者の生活機能の向上のための魅力的な日課づくりをめざしました。まだ道半ばです。今年もこのとりくみを継続し、当法人が運営する生活介護事業所の在り方の検討も進めていきます。

④就労支援部では、「働くことへの支援とは何かを追求し、就労支援の充実をめざしていきます」を重点目標に定めました。昨年から引き続いて生産管理の学習を基に、4事業所共通の基礎をもって利用者に作業を提供する際の環境づくり、職場づくりと、4事業所で連携・連絡をとりながら各事業所の機能を明確にして利用者の働く力に応じた就労支援にとりくみました。今年も、武蔵野千川福祉会における就労支

援の基本型を整理し、それを事業所間で共有するとりくみとともに、各事業所の機能を共有するとりくみを続けていきます。

利用者のゆたかな人生を支える社会福祉法人として

事業方針2.「職員研修を積み重ねていきます」では、研修の種類やその目的、在り方を検討しながら、コロナ禍において可能な限り職員研修を実施しました。

①分野別研修においては、「事業別学習会形式での研修の継続」を重点目標に、5つの分野別学習会を開催し、それぞれの学習内容を積み重ねてきました。特に昨年は、感染症対策を講じながら会場での対面研修に加えて、オンラインでの研修も実施しました。分野別研修として、「おひさま学習会」、「さくらんぼ学習会」、「生活支援部学習会」、「生活介護事業所学習会」、「B型事業所学習会」の各学習会では、重点目標1.「利用者支援を充実させます」における各支援部の重点目標を学習内容としてとりくみました。また、新たに情勢報告とともに、職員による実践の報告と検証を基本としてグループワークも取り入れました。

②階層別研修においては、「研修の内容、開催方法を検討する」を重点目標に、職員基礎研修として、ビジネスマナーを学ぶ「ビジネスマナー研修」を実施しました。年明けには、全職員を対象にした情勢・歴史を学ぶ「歴史研修」、人権について学ぶ「人権研修」を計画しています。さらに、年度末には感染拡大防止対策を徹底して短時間ではありますが、従来通り、法人職員全体でまとめの研修として、「年度末職員研修」を開催する予定で準備を進めています。

③派遣研修においては、「階層別に必要な研修内容を補完できるようにする」ことを重点目標に、各階層に必要なさまざまな研修へ積極的に参加できるようにとりくみました。特に、感染拡大防止対策を徹底して他機関への訪問・視察研修を分野別・階層別にとりくみました。

事業方針3.「中長期計画の策定をします」では、社会福祉の情勢が目まぐるしく変化している状況の中、法人として今後の安定した運営、事業の展開、財務の安定を図るために、事業方針として「中長期計画の策定」を掲げました。今後の法人の方向性を5年後、10年後を見据えて考え、具体的な計画にしていこうととりくみます。毎月、常任理事会で話し合ってきました。4月には発表できるよう現在、作業を進めています。

事業方針4.「新型コロナウイルス感染症等緊急事態に適切に対処します」では、昨年も継続して新型コロナウイルス感染拡大防止を法人の重要な事業方針の一つとしてとりくみました。しかし、変異株が広がり始めた第7波に入って事業所内でも感染が広がり、7月に2事業所をそれぞれ5日間と2日間、8月に1事業所を2日間閉所しました。その後、感染拡大防止策の徹底を利用者、ご家族、職員とも協力してとりくみ、なんとか落ち着いた状況になりましたが、第8波と思われる11月になって1事業所を5日間、12月にも1事業所を3日間閉所しました。まだまだ、社会的には安心できません。今年も対策を続けながら、万が一非常事態の際には事業継続計画を活かして対応していきます。

事業方針5.「人事評価・キャリアパス制度を適切に運用します」では、昨年、人事評価制度について全職員に説明し、周知しました。それをもとに自己評価、上司評価・面接を進めることができました。今年も継続して制度運営を行い、職員間のコミュニケーションを円滑にする機会としながら、適切な評価をして、処遇に反映できるようにしていきます。

武蔵野千川福祉会は、「利用者が、あるがままに、あたりまえに、地域で『働くこと』『暮らすこと』をゆたかに」をめざしている社会福祉法人です。今年も、一人ひとりの利用者のゆたかな人生をめざし、皆さまとともに歩んでいきます。

どうか今年も見守ってくださいますよう、お願い申し上げます。

きょうされん冬季販売へのご協力ありがとうございました

武蔵野東高等専修学校
武蔵野東学園事務局
武蔵野東第一幼稚園
武蔵野東第二幼稚園
武蔵野東小学校
武蔵野東中学校

武蔵野東教育センター
小金井特別支援学校
テンミリオンハウス月見路
筑波大学附属視覚特別支援学校
東京学芸大学附属特別支援学校

その他、個人の皆様



☆衣料・日用品

総売り上げ 491,570 円
売上個数 358 個

☆食品

総売り上げ 751,940 円
売上個数 595 個



社会福祉法人 武蔵野千川福祉会

<http://www.musashino-senkawa.com>

< 生活介護事業所 >

◆ 千川作業所	〒180-0011	武蔵野市八幡町 4-28-13	TEL 0422(55)3826
◆ ワークイン中町	〒180-0006	武蔵野市中町 2-6-5	TEL 0422(27)7519
◆ ななほしワークス	〒180-0022	武蔵野市境 2-11-3-101	TEL 0422(38)8083

< 就労支援事業所 >

◆ チャレンジャー	〒180-0023	武蔵野市境南町 4-20-5	TEL 0422(30)3010
◆ ワークイン関前	〒180-0014	武蔵野市関前 3-41-16	TEL 0422(37)6266
◆ 武蔵境ワーキングセンター	〒180-0023	武蔵野市境南町 3-10-1	TEL 0422(33)1708
◆ 八幡作業所	〒180-0011	武蔵野市八幡町 4-5-5	TEL 0422(27)8390
◆ 武蔵野市障害者就労支援センターあいる	〒180-0023	武蔵野市境南町 2-5-8-102	TEL 0422(26)1855

< ショートステイ／ミドルステイ／自立生活体験事業 >

◆ 桜はうす・今泉	〒180-0021	武蔵野市桜堤 1-5-1	TEL 0422(54)1187
◆ 井の頭はうす	〒180-0003	武蔵野市吉祥寺南町 4-21-17	TEL 0422(46)7707

< 児童発達支援事業 > < 放課後児童健全育成事業 > < 放課後等デイサービス事業 >

◆ 千川おひさま幼児教室	〒180-0011	武蔵野市八幡町 4-28-13	TEL 0422(51)4008
◆ 千川さくらっこクラブ			
◆ 千川さくらんぼクラブ	〒180-0011	武蔵野市八幡町 2-5-3 北ホール1階	TEL 080(5458)9175

< 共同生活援助（グループホーム） >

◆ 天の薔寮	◆ 第一桜寮	◆ 第二桜寮	◆ 境南葵寮	◆ 吉祥寺泉寮	◆ 関前上水寮
◆ 相談支援事業所 せんかわ					

< 発行人 > 特定非営利活動法人 障害者団体定期刊行物協会 東京都世田谷区吉祥寺3-1-17-102 TEL 03(6277)9611

< 編集人 > 社会福祉法人 武蔵野千川福祉会 東京都武蔵野市境南町 4-20-5 TEL 0422(30)0022 定価 50 円